

令和7年度 徳島県障がい者自立支援協議会 議事概要

1 日 時

令和8年3月11日（水）午後2時から午後3時25分まで

2 場 所

徳島県教育会館4階 会議室2

3 出席者

(1) 委 員（50音順）

川島 成太 委員
小林 日登美 委員
西條 志野 委員
佐河 勇氣 委員
田岡 泰典 委員（副会長）
高田 逸雄 委員
竹田 文昭 委員
林 徳太郎 委員
益田 暁子 委員
森泉 摩州子 委員（会長）

(2) 関係部局及び事務局

障がい福祉課5名、障がい者相談支援センター3名、
健康寿命推進課1名、精神保健福祉センター1名、
南部総合県民局1名、特別支援教育課1名

4 次 第

- 開 会
- 挨 拶 障がい福祉課長
- 議 事

(1) 各部会等の開催状況について

- ① 人材育成部会
- ② 地域自立支援協議会推進部会
- ③ 推進部会の各課題別検討会議
 - ア 医療的ケアを要する重症心身障がい児等支援検討会議
 - イ 行動障がいがある障がい者（児）支援検討会議

(2) 新たな課題別検討会議の設置について

(3) その他

- 閉 会

【配布資料】

- 資料 1 人材育成部会 開催状況報告
- 資料 2 地域自立支援協議会推進部会 開催状況報告
- 資料 3—1 医療的ケアを要する重症心身障がい児等支援検討会議 開催状況報告
- 資料 3—2 行動障がいがある障がい者（児）支援検討会議 開催状況報告
- 資料 4 新たな課題別検討会議（聴覚障がい児支援検討会議）の設置について
- 参考資料 徳島県障がい者自立支援協議会について

5 議事概要

<議事（1）各部会等の開催状況について（①人材育成部会）>

（会長）

「議事（1）各部会等の開催状況について①人材育成部会」の開催状況について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料 1 により説明

（会長）

御説明いただいた件について、御質問や御意見がございましたらお願いします。

専門コースの就労支援のところでは、参加者の反応等はいかがでしたでしょうか。また、参加者はどれぐらいだったんですか。

（事務局）

33名が修了しております。昨年度から専門コース別研修において、相談支援専門員とサービス管理責任者や児童発達支援管理責任者が一緒に参加できる研修を行っています。これまでそうした研修の場がなかったということで、非常に好評を得ております。

（会長）

現在、他機関との連携や情報共有が課題として挙がっていますので、研修を通じて顔の見える関係ができると次も連絡がしやすくなります。今後も、引き続きこのような研修を実施していただければと思います。

<議事（1）各部会等の開催状況について（②地域自立支援協議会推進部会）>

（会長）

続きまして、「②地域自立支援協議会推進部会」の開催状況について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料 2 により説明

(会長)

御説明いただいた件について御質問等がありましたらお願いします。

地域自立支援協議会推進部会の第2回目の開催状況報告の中で、精神障がい者支援検討会議を年度内に開催予定とありましたが、現在の状況はいかがでしょうか。

(事務局)

メンバー選定に想定以上の時間を要してしまい、年度内の開催が間に合わない状況です。年度をまたぐことにはなりますが、5月か6月頃の開催を目指して調整しているところ です。

(会長)

引き続き準備を進めていただければと思います。また、市町村向け調査の結果について、具体的なノウハウや人材不足といった課題が挙げられていますが、市町村からこうすればもう少し設置しやすくなるといったような意見等はなかったでしょうか。

(事務局)

市町村からは、制度の仕組みや必要性は分かるものの、具体的な要綱や事務手続きが分からないという意見がありました。そのため、今年2月に地域生活支援拠点等の整備や基幹相談支援センターの設置に係る要綱例（ひな形）等を、県から市町村にお示しさせていただきました。ぜひ活用していただき、県内で設置・整備が広がっていただけたらと考えております。

(副会長)

現在は基幹相談支援センターが未設置であっても機能強化型の加算が取得できますが、令和8年度末でこの経過措置で終わるため、各市町村で基幹の設置の検討が進められているかと思います。しかし、一部の市町村において、機能面が不十分な状態や目的がはっきり話し合われていない状態で設置されようとしていたり、委託に十分な予算が取られていなかったりする状況があると聞いています。

市町村障害者生活支援事業費は、令和7年度から前年度比39%増となっていますので、その増加分を基幹相談支援センターの設置費用に充てられるような指導や連携を取っていただけると助かります。また、来年度も相談支援専門員協会において研修の実施を計画しています。今年度に引き続き市町村の行政担当者の出席を促していただけたらと思います。高知県においては、財政担当者にもそうした研修に参加いただいたという話もあったようですので。そうした促しの検討なども引き続きお願いいたします。

(会長)

先行事例なども参考にしながら、引き続き進めていただければと思います。

(委員)

国においては、昨年度から「地域生活支援体制整備事業」の中で全国を対象にブロック会議を実施し、基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の設置促進を行っています。今期の障害福祉計画の最終年度に向けて、基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の設置を推進していかなければならない状況にあります。

県では市町村に対して要綱等の情報提供を行っていただいておりますが、行政同士、県と市町村がどのようなパートナーシップを築いていけるのかが重要です。県と市町村の担当課が直接話をする流れが必要だと思います。来年度に向けて、県としてどのようなバックアップや取組をお考えでしょうか。

(事務局)

国が実施するブロック会議に参加する中で、先進的な県では担当者が市町村へ出向いて一緒に課題を話し合いながら進めているというお話を伺いました。

本県でも、市町村から声をかけていただき、具体的な手続きについて一緒に勉強会を行う機会を持ち、他県事例などの情報提供を行った結果、県外への視察に繋がった自治体があるほか、直営も視野に入れて検討を始めている自治体もあります。

今後も声をかけていただければ訪問し、一緒になって取り組んでいきたいと考えております。

(委員)

ブロック会議の中で徳島県が何を得られるかを考えた時、設置が進むことはもちろんのこと、県が市町村とコンタクトを取り、平時にぎくばらんに話ができるような関係性や文化ができることは副産物として非常に重要です。そのプロセスを各地域と実践できていると伺い、安心いたしました。

(会長)

一步一步、力強く進めていただければと思います。

<議事(1)各部会等の開催状況について(③推進部会の各課題別検討会議)>

(会長)

続きまして、「ア 医療的ケアを要する重症心身障がい児等支援検討会議」及び「イ 行動障がいがある障がい者(児)支援検討会議」について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料3-1、資料3-2により説明

(会長)

御説明いただいた件について御質問等がありましたらお願いします。

(委員)

医療的ケアに関して、短期入所の受け入れなどが着実に進んでいるという印象を受けました。在宅移行パスについて、退院時にこだわらず、既に在宅で過ごされている方や、新たに医療的ケアが必要になる方に向けた制度やサービスのパスができた方が良いのではないかと感じました。

(事務局)

退院時に限らず、在宅にいる時にも要所要所で必要な手続きや支援制度を一貫して受けられるよう、医療と福祉の役割を融合し、広く長く使えるものができたほうがよいと考えております。作成にあたり、各専門機関の御意見をいただくこととなりますので、長く使えるようなものを視野に検討してまいります。

(会長)

今日はちょうど東日本大震災があった3月11日です。個別避難計画や災害時の避難や福祉避難所等についても、医療的ケア児だけではなく行動障がいのある方を含めてしっかりと進めていただきたいと思います。

また、中核的人材研修など、研修の参加については、大きな事業所であればいいですが、研修に出しにくい事業所もあるかと思っておりますので、研修参加についての支援があれば良いかと思っております。

<議事(2) 新たな課題別検討会議の設置について>

(会長)

次に、「新たな課題別検討会議の設置について」事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料4により説明

(会長)

御質問等がございましたらお願いします。

検討会議のメンバー構成について、新生児聴覚検査実施体制検討会議をベースにして広げる、吸収するような形になるのでしょうか。

(事務局)

吸収するような形になりますので、既存の検討会議の委員も考慮して参画していただくと考えております。

(会長)

医療機関の先生方が多く委員になられるかと思っておりますが、国通知にありますように聴覚分野や言語発達に詳しい言語聴覚士、療育機関の関係者による連携とありますので、必要に応じて検討していただければと思います。

(事務局)

現時点では、言語聴覚士の資格を持ち、療育機関の現場で支援に当たっている方に御参画いただくことを想定しております。

(会長)

他に何か御質問や御意見ございませんでしょうか。

昨年は、徳島県手話言語条例が制定され、国においても手話施策推進法が施行されたほか、デフリンピックにより機運が高まっているところですので、聴覚障がいのある方の支援についてもしっかりと取り組んでいただきたいと思います。皆様、設置についてはこの方向で進めさせていただくということによろしいでしょうか。

(異議なし)

<議事(3) その他>

(会長)

本日の議事全般に関して、またその他の内容について御質問や御意見はございませんか。

(委員)

医療的ケアを要する重症心身障がい児の「個別避難計画」に関して、「在宅人工呼吸器装着患者の避難訓練」を実施したとのことですが、その様子や避難の状況についてお聞かせいただけますか。

(事務局)

報告によりますと、1階から2階へ上がる垂直避難訓練等を実施し、消防団等の支援者と綿密に打ち合わせを行われました。また、近くの高齢者施設(福祉避難所)の協力を得て、医療的ケアに必要な荷物をあらかじめ福祉避難所に置かせてもらうという話し合いも持たれました。机上で考えるだけではなく、まずは実際に動いてみて、ブラッシュアップしながら次の課題を見つけることが重要であるという報告がございました。

地域の自立支援協議会等で事例紹介や先進事例を知りたい、研修会を行いたいといった御要望があれば、徳島県医療的ケア児等支援センターのコーディネーターが喜んで引き受けますので、この場をお借りして周知させていただきます。

(会長)

災害に対する備えは十分にしておかなければならないと思います。

他に御意見等もないようですので、本日の議事を終了したいと思います。来年度も引き続き御協力をお願いいたします。進行を事務局にお返しします。

<閉会>

(事務局)

以上をもちまして、令和7年度徳島県障がい者自立支援協議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。